

October 3, 2017



## アグン山の火山活動が活発化されてからのバリ、ヴィラアイルバリの状況につきまして

バリ島のシンボル、アグン山の火山活動が活発化するニュースが日本で多々報道され、ご旅行をご予定されていたりの方は、心よりご心配されていたりする事と存じます。現在、警戒レベルが出され、アグン山の山頂 9 キロから 12 キロ圏内の方々が安全のため非難している状況でございます。

ヴィラアイルバリがございます、スミニャック、南部地区でございますが、アグン山からは 70km と離れた距離にございます。万が一噴火が起こった場合も、溶岩などが流れてきたり、火山ガスなどの被害は受けない地域でございます。1963 年の噴火を体験された南部地区の現地の方からは埃のような細かい火山灰が少し落ちたとのお話を伺っております。

万が一噴火した際には、細かい火山灰は落ちてくる可能性がございますので、当ヴィラでは事前にマスクをご用意させて頂いております。

皆様が一番心配になられるのが、空港閉鎖になりご帰国ができなくなってしまう事と思います。

インドネシア政府は、バスを約 300 台用意し、ロンボク島のプラーヤ空港 / 東ジャワ島のバニウワング空港 / 中部ジャワ島のスラバヤ空港まで移動できるよう計画を立てております。

ご滞在中、噴火が発生し空港閉鎖になった場合には、その場に応じ宿泊の延長(空き状況にもよりますが)などヴィラアイルバリではできる限りお手伝いをさせていただきます。

自然災害であり、予測がつかなく、現地の状況もニュースのみではわかりづらい事と思います。そんな中、不安をお持ちになられてのご旅行は、出発の前から大変お疲れになられる事と思いますので、現時点でのヴィラアイルバリ、南部の地区のご報告をさせていただきます。現在、ご滞在のお客様は、通常通り観光にお出かけになられご滞在を楽しんでいらっしゃいます。また、南部の現地の方々もまったく変わらず通常通りの生活をしております。

アグン山噴火の沈静化を祈り、また皆様のご心配を少しでも和らげる事ができましたら幸いです。

2017 年、10 月 3 日、バリ島からのご報告とさせていただきます。

森かなこ

Kanako Mori

Executive Assistant Manager / Villa Air Bali